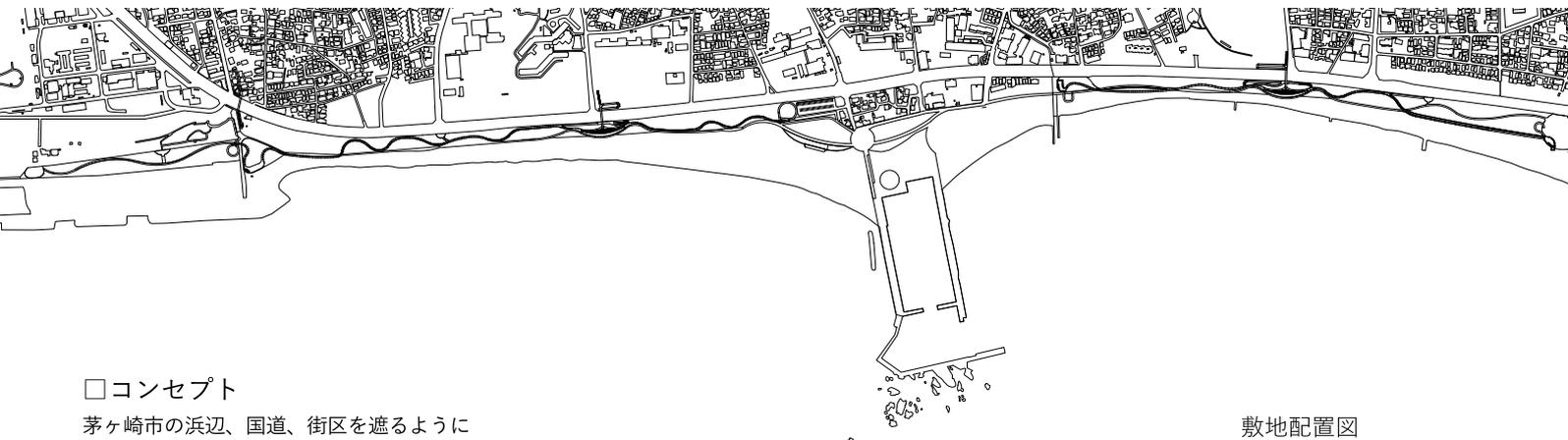


異化する浜辺と茅ヶ崎の街



徳田和也
建築設計計画 | 研究室



敷地配置図

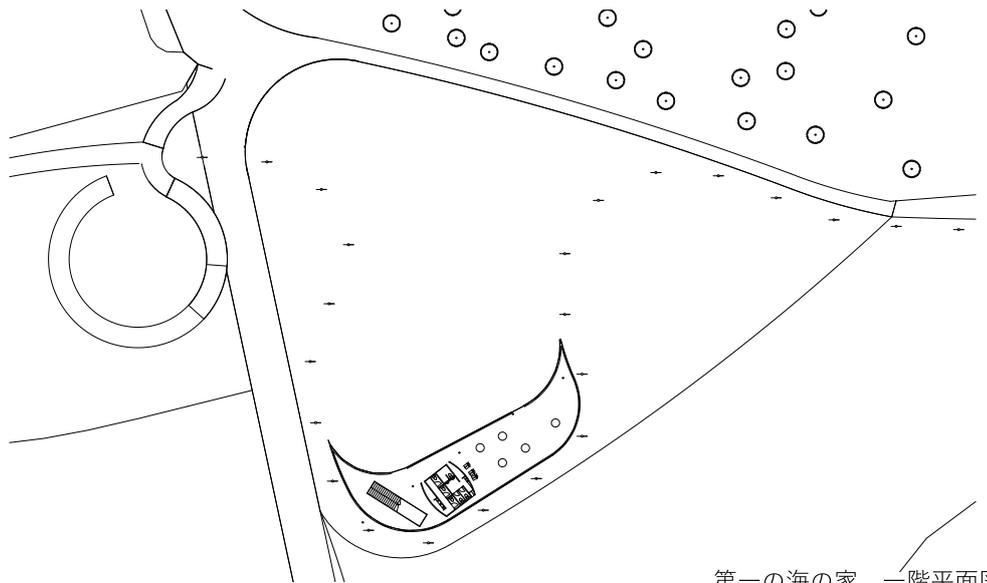
□コンセプト

茅ヶ崎市の浜辺、国道、街区を遮るように存在する砂防林の敷地を活用し、人々の往来を自由にする建築群を設計する。

□プログラム

現在存在している、砂防林に沿って配置されているサイクリングロードを、湾曲させ、ボンエルフに似た機能を持たせる。サイクリングロードに合わせ高さ4000の空中歩廊を設置し富士山や江ノ島を望む、独自の景観を楽しみつつ飛砂防止の機能を持たせる。

空中歩廊とサイクリングロードを一部膨らませ広場と建築を設置し、ロッカーや更衣室、トイレテラスの空間としての機能を持たせる。



ダイアグラム

第一の海の家 一階平面図

□デザイン

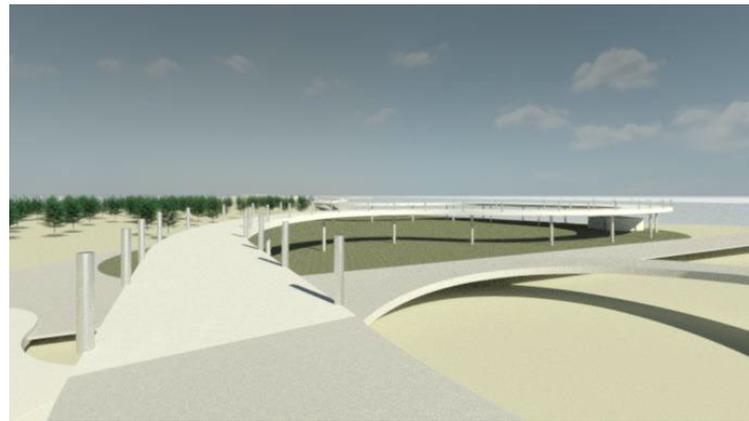
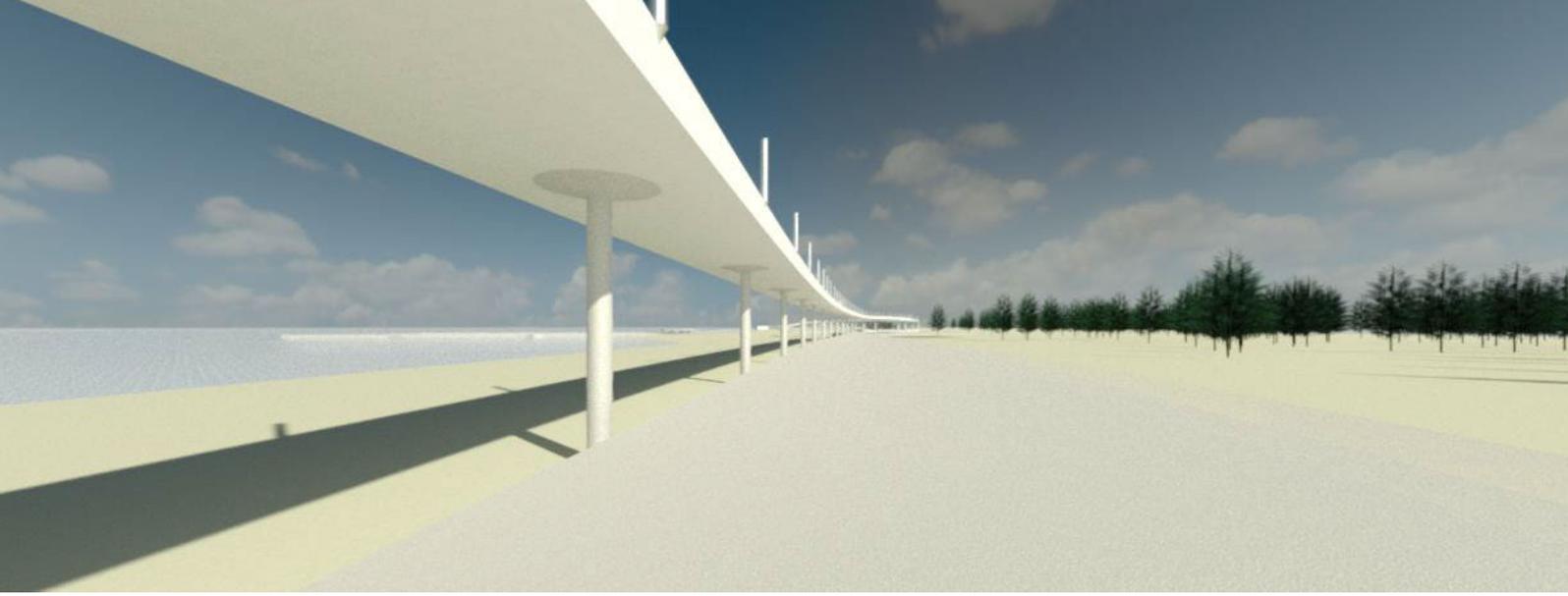
空中歩廊及び建築は、白で塗装したアルミ板を意匠とした鉄骨造。直径300の柱が9000のスパンで空中歩廊を支えており、地面が軽々と浮いているような印象を与える。地上面はホワイトコンクリートとし、建築と合わせ、白を基調とした。海と空の青にも映え、砂に埋もれても目立ち、デザインとして美しくなるよう配色を決めた。



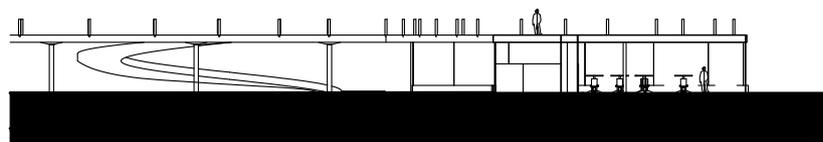
フェンスと砂防林により壁が出来ている



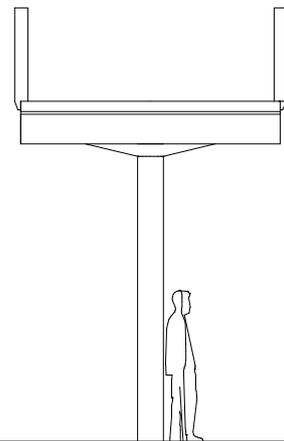
フェンスに代わり空中歩廊を入れ、砂防林内部の空間も活用する



第二の海の家 西側立面図



第四の海の家 南側立面図



空中歩廊